



2022 JR総連春闘勝利！ シリーズ③

満額回答は可能だ！ 要求の趣旨説明で主張 第1回団体交渉

JR東海労は本日、2022年度賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求の申し入れに対する第1回団体交渉を開催しました。本部は以下の通り、趣旨説明を行いました。

- ◆コロナ禍の影響により減収・減益となっているが、JR東海の単体の第3四半期決算で前年同期比で損益が大幅に改善されたことは、社員の努力によるものである。
- ◆社員は感染に怯えながら業務に就き奮闘しているが、会社はその奮闘に報いることもなく、期末手当を3期連続2.2ヶ月という低額に抑え込んだ。これは、安定的支給ベースを信用していた全社員の気持ちを裏切ると共に、現場で働く全社員の生活設計を破壊した。
- ◆一方、役員報酬はわずかな自主返納で高額な報酬を維持している。
- ◆リニア建設を進めていることは、組合の要求に応える経営体力は十分ある。
- ◆従って、組合の要求通り実現するべきだ。

一方、会社の見解は「当社の経営状況はコロナ禍で厳しい状況である」「我が国の経済情勢は厳しい。鉄道業などはマイナスの影響が極めて大きい」「当社の賃金水準は高いレベルである」などと、賃上げをしない言い訳を並べました。

本部は、経営状況が悪くとも社員の生活が第一と考え、交渉に臨んでいきます。

第2回団体交渉は、2月28日です。